



抵抗もしていない一般市民を次々に虐殺する、これをホロコースト、ジェノサイドと呼ぶが、イスラエルの行為は、まさにパレスティナ人に対するホロコーストだ。ハーミドがアンマンから訴える。

「もしイスラエルがハマスだけをターゲットにしていないのなら、どうして無実の子どもたちや女性が狙い撃ちされるんだ？これがどうして（ロケット弾による）」

「イスラエルの正当防衛」なんだい？イスラエルは400人以上の子どもたち

それと100人以上の女性を殺し続けているんだ。人間はウソをつけるけれど、数字はウソをつかないんだ。これはまさにホロコーストだよ。

人間、つまりイスラエル政府はウソを突き通すつもりだろうが、殺されゆく死体の映像、その数はごまかせない。

ハーミドのEメールから、怒りが湯気になって湧き上がってきた。私たちがただテレビを見て「かわいそう」「怖いわね」としゃべっているだけでよいのだら

イスラエル・パレスティナ問題

ハーミドさんからガザの映像が届いた 毎日殺され続けている

これが日常だ

ジャーナリスト 西谷 文和

私はこれまでに9回イラクを取材しているが、空いた日程を利用してイスラエルに3度入国した経験がある。限られた時間の中で、ヨルダン川西岸やエルサレム、テルアビブなどといった地域を訪問し、イスラエル・パレスティナ問題の一端を垣間見てきた。私の場合、イスラエルには陸路でヨルダンの首都アンマンから入国する。アンマンには通訳のハーミドがいる。「ガザの様子を伝えてくれ」と依頼していた。そして短い映像を手に入れた。

国際赤十字の職員の死体が転がっている

死体が転がっている。その後ろに赤十字の車が見える。国際赤十字の職員を示す黄色いダウンジャケットが、肩までめくり上げられ、右わき腹から血がしみ出し、同じ黄色のジャケットを着た赤十字の職員数人が、叫びながら介抱しようとする。

死体の後ろに大型バスとタンクローリー1。コンクリートの壁にはパレスティナの国旗が描かれている。

ここはガザからイスラエルへ抜けるエレット検問所にほど近い空き地。赤十字職



が、すでに息絶えていることを確認して、静かに彼の両腕をおなかに乗せる。セーターにこびりついた血が大写しになり、やがて毛布が運び込まれる。職員数人で死体が担ぎ上げられ、毛布にくるまれる。イスラムでは長期間死体をさらしてはいけない。

員が銃撃されたのは1月8日午後。犯人はイスラエルのスナイパーだ。1月8日、カナダ国籍を持つパレスティナ市民（二重国籍者）を、カナダへ脱出させるべく、車列が組まれた。市民たちはエレット検問所からイスラエルに抜け、カナダに避難する途中だった。

車列を先導していたのが、人道支援活動を続ける赤十字の職員たちだった。

イスラエル兵は、その先

ガザの死者は1300人 負傷者は5100人

この映像は1月14日に、ヨルダンの首都アンマンから送られてきたもの。ハーミドがパレスティナ人のモタツズを一時受け入れていた。モタツズはパレスティナ人であるが、カナダ国籍も持っていたため、ガザを逃れることができたのだ。事件はモタツズがガザから脱出する、その日に起こったのだ。

昨年未から始まったイスラエルの一方的な攻撃によって、ガザの死者は



エレット検問所からわずか数100mの地点で狙撃された。コンクリートにパレスティナの国旗が

1300人、負傷者は5100人を超えた。何の

導する赤十字の車を狙撃したのだ。

カナダへ帰る大型バスの前で、サングラスをしたパレスティナ人が「バスに乗っている女性や子どもの目の前で、人が殺された。俺たちの町では、これが日常だ。毎日殺され続けている。何の支援もない」と冷静に語る。

その後カメラはバスに入っている、出発を待つ3歳ぐらいの子どもの顔が大写しになって、映像は終了する。

ワールドカップ サッカーと戦争は違う

うか？ガザ市民はもう3年間も壁に包囲され、監獄と化した中で生活してきた。しかし「ガザを救え！」と行

動を起こした人は少数だった。つまり国際社会の無関心が、パレスティナ人を殺し続けてきたのだ。

4年前テルアビブからタクシーを拾ってガザのエレット検問所まで行ったことがある。タクシーでわずか1時間半の距離。あつという間にガザの壁まで到着した。「俺たちの国土（イスラエル）は狭いんだ。本当は西岸やガザだけでなく、ゴラン高原、シナイ半島も俺たちの土地だ。ガザから撤退するなんて、問題外だよ」と運転手。同様の意見はテルアビブ、エルサレムの居酒屋などでもよく聞かされた。

「ちょっと待ってよ。ユダヤ人の国が狭いことは分かるけど、それまで住んでい

たパレスティナ人はどうなるんだい？」と尋ねると、「いや、俺たちはその前から住んでいる」と譲らない。（おそらく旧約聖書の影響か？）

日露戦争で日本が勝利したとき、日本の民衆は熱狂的に喜んだという。日本軍はその後暴走し、中国や朝鮮半島を侵略する15年戦争に突き進んでいくのだが、軍部の暴走を許した背景には「日本勝った、ロシア負け」と、狂喜乱舞する民衆がいたのではなかっただろうか？日本人でもロシア人でも、殺されゆく兵士は同じ人間。ワールドカップサッ

イスラエルのスナイパーに狙撃された赤十字職員。ハマスとは全く関係ない人まで次々と殺されていた



カーと戦争は違う。

今回のイスラエルによるガザ攻撃を、イスラエル国民は圧倒的に支持している。私たちは想像力を働かせねばならない。白リン弾で大火傷を負った人々を。クラスター爆弾で手足を吹き飛ばされた子どもを。そしてその身体から流れ出る血は、国籍や宗教にかかわらず真つ赤だということを。

国籍や宗教にかかわらず 流れ出る血は真つ赤だ！